

まわした かたちを かこう ①

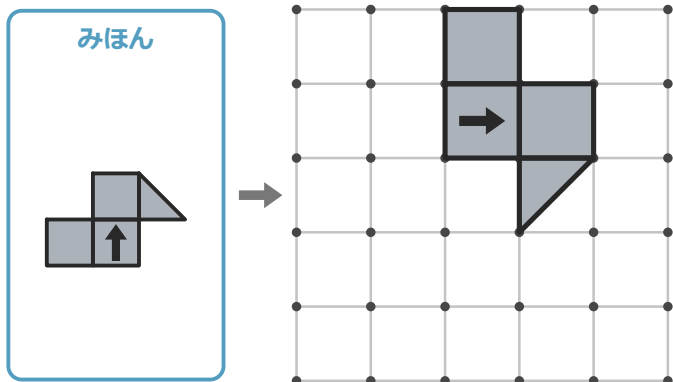
2ねんせい／れいをみて かこう

なまえ _____

ひづけ _____

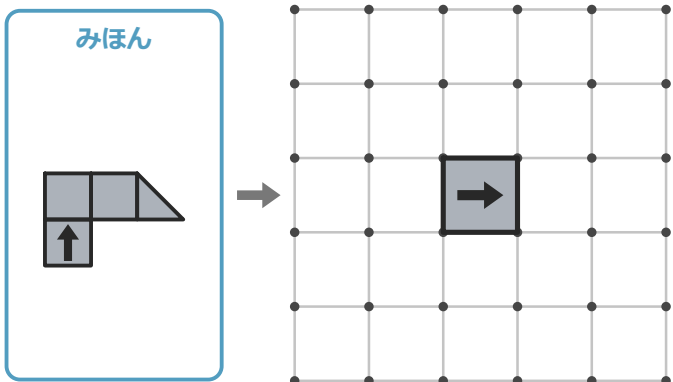
- ・「れい」をみてから、みほんをまわして、みぎに ならんだ てんの ところにかきます。
- ・てんの ほうにある はいろの ますは、みほんの やじるしの ますです。ここから かきます。
- ・わくの したに「↑が→ になるように まわす」とあります。その とおりに みほんを まわします。
- ・てんを せんで むすんで かこみます（ぬらなくて よい）。
- ・うらがえし（かがみの ように ひっくりかえす こと）は しません。

れい



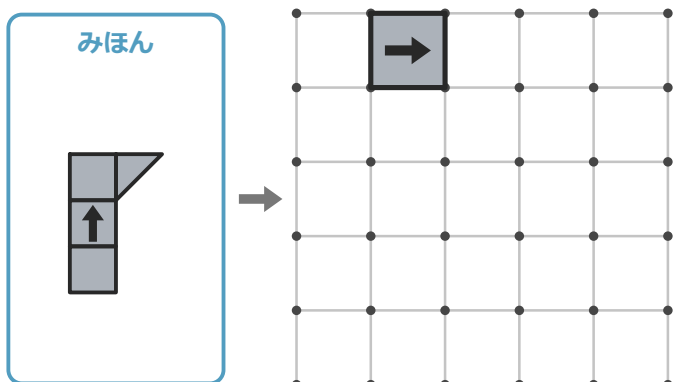
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

1



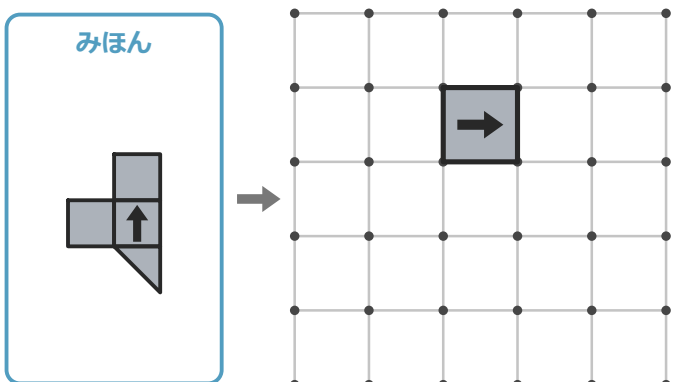
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2



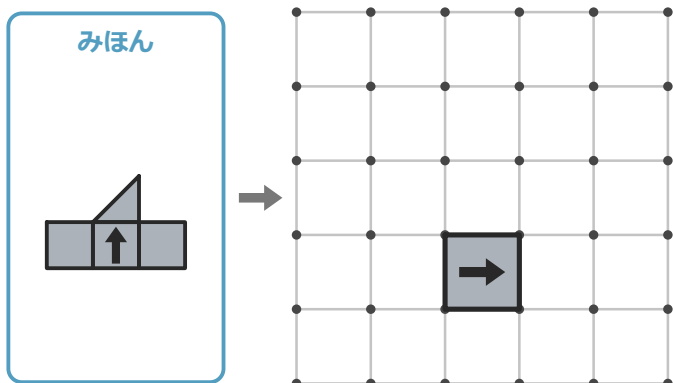
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

3



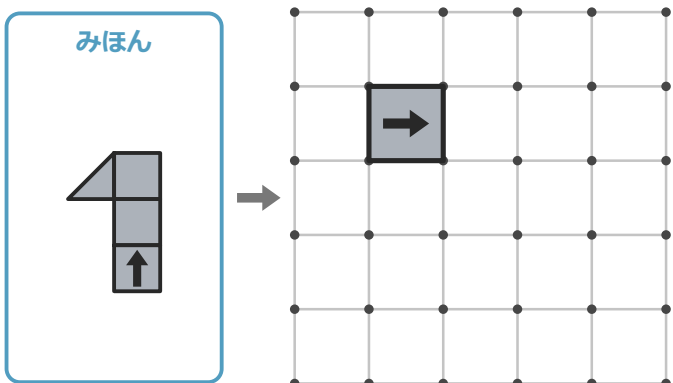
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

4



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

5



↑ が → になるように まわす（みぎむき）



まわした かたちを かこう ②

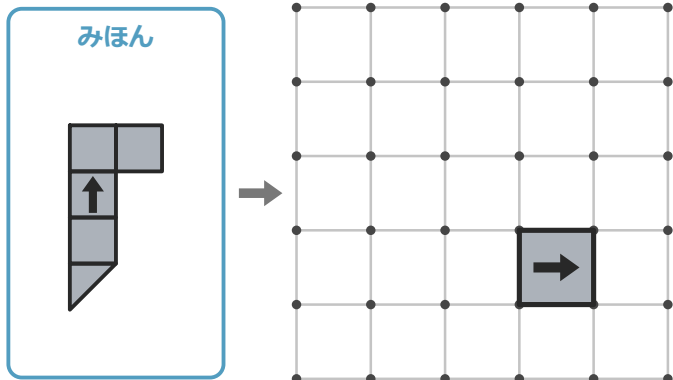
2ねんせい／れいなしで かこう

なまえ _____

ひづけ _____

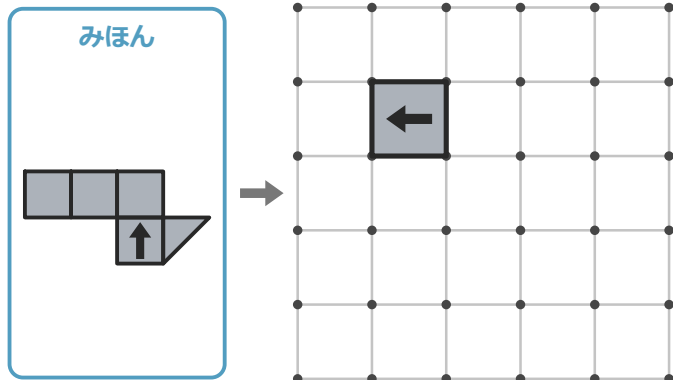
- ・みほんを まわして、みぎの てんの ところにかきます。まわす むきは わくごとに ちがいます。
- ・てんの ほうにある はいいろの ますは、みほんの やじるしの ますです。ここから かきます。
- ・わくの したに「↑が→ になるように まわす」とあります。その とおりに みほんを まわします。
- ・てんを せんで むすんで かこみます（ぬらなくて よい）。
- ・うらがえし（かがみの ように ひっくりかえす こと）は しません。

1



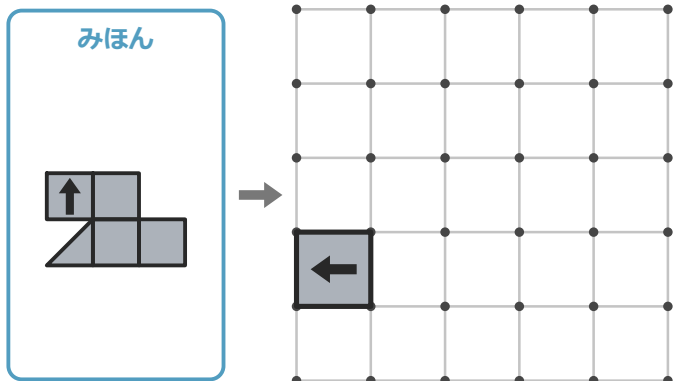
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2



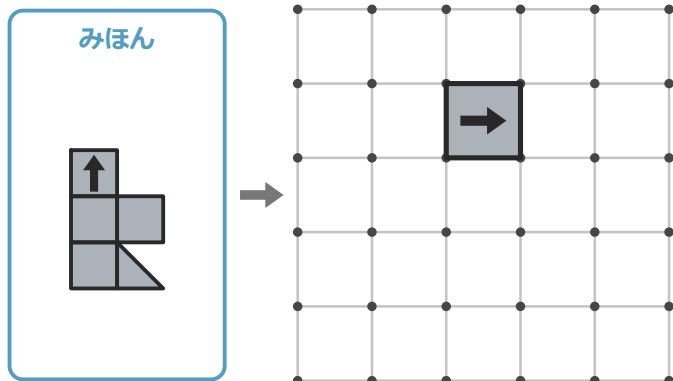
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3



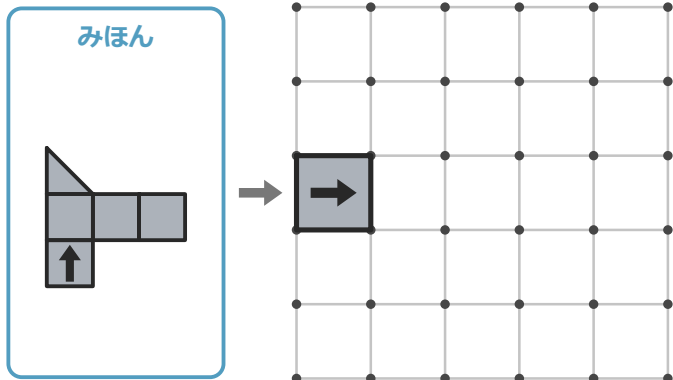
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

4



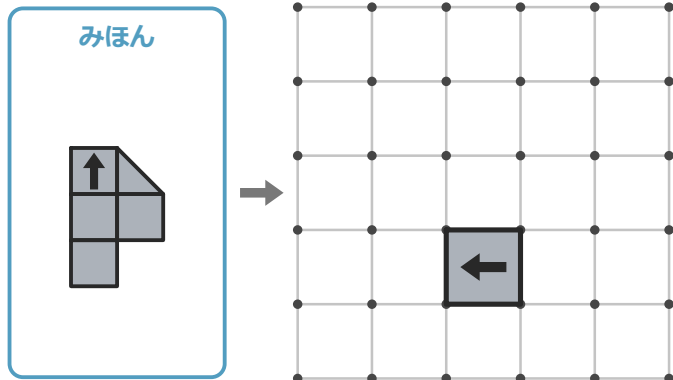
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

5



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

6



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）



まわした かたちを かこう ③

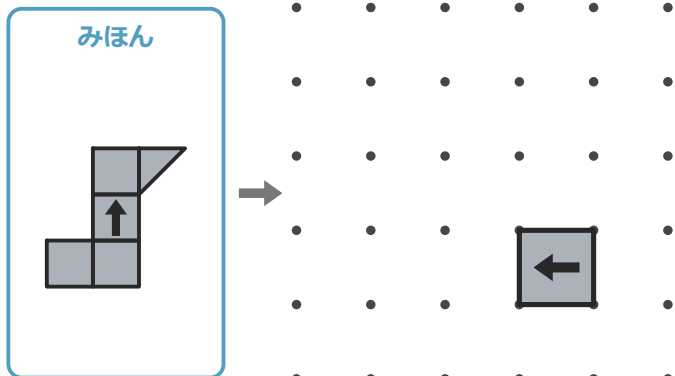
2ねんせい／てんだけで かこう

なまえ _____

ひづけ _____

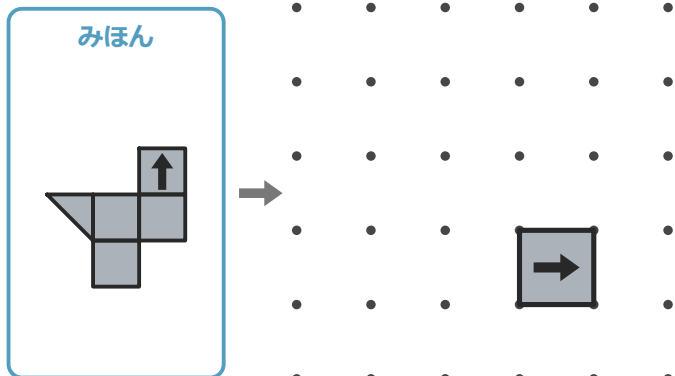
- ・みほんを まわして、みぎの てんの ところにかきます（となりの てんまでが ます 1つぶん）。
- ・ますの せんはありません。てんと てんを せんで むすんで かこみます（ぬらなくて よい）。
- ・てんの ほうにある はいいろの ますは、みほんの やじるしの ますです。ここから かきます。
- ・わくの したに「↑が→ になるように まわす」とあります。その とおりに みほんを まわします。
- ・うらがえし（かがみの ように ひっくりかえす こと）は しません。

1



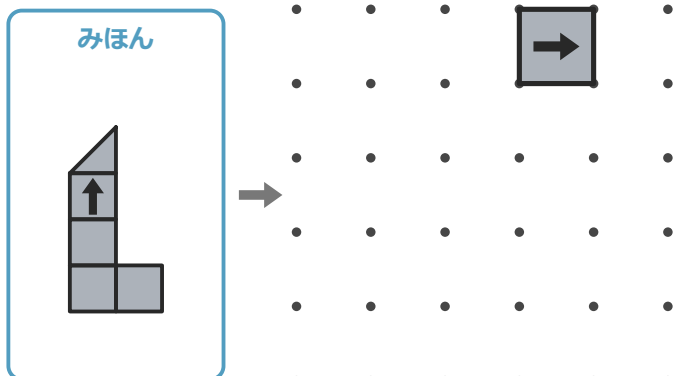
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

2



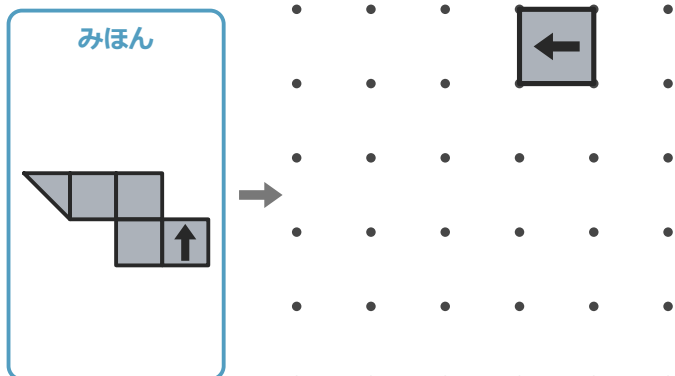
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

3



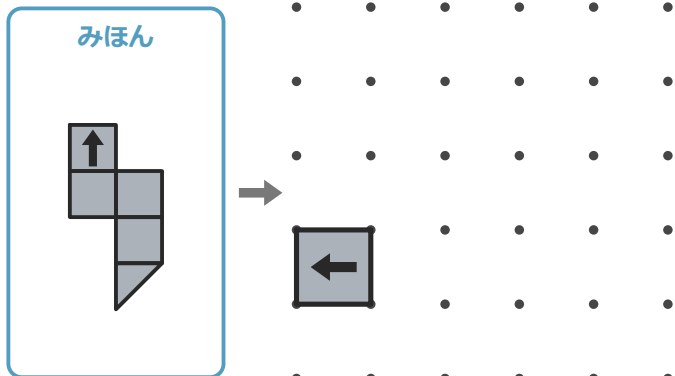
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

4



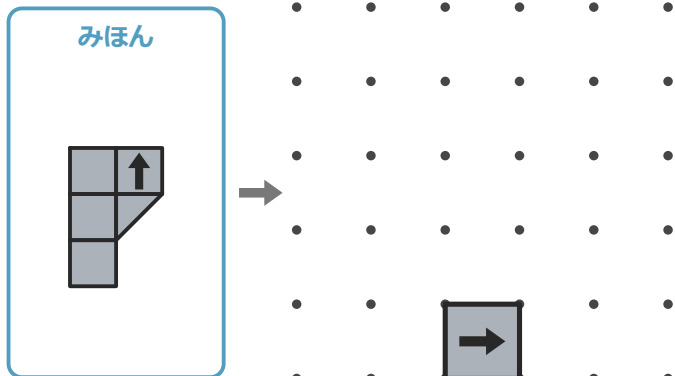
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

5



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

6



↑ が → になるように まわす（みぎむき）



まわした かたちを かこう ④

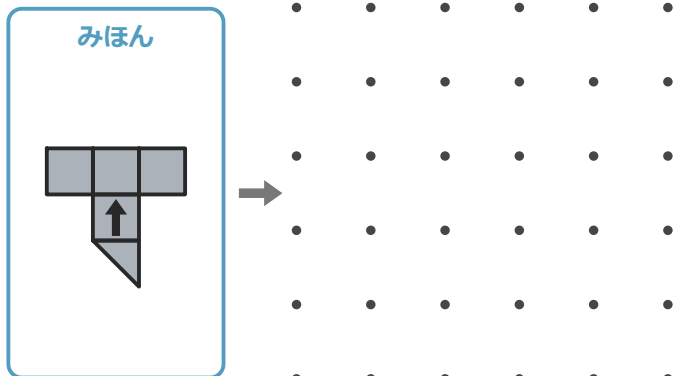
2ねんせい／すきな ところに かこう

なまえ _____

ひづけ _____

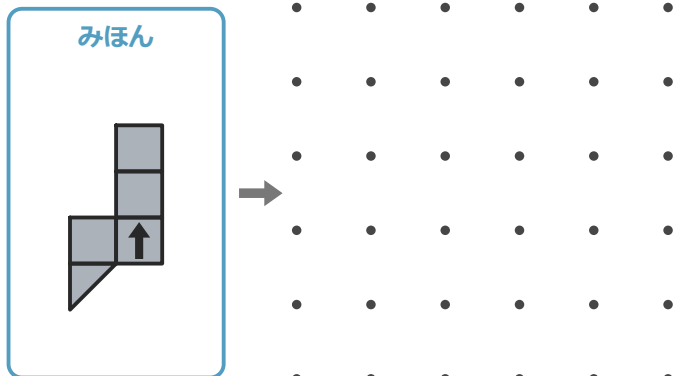
- ・みほんを まわした かたちを、みぎの てんの なかにはいるように 1つだけ かきます。
- ・わくの したに「↑が → になるように まわす」とあります。その とおりに みほんを まわします。
- ・どこに かいても よい です。やじるしは かかなくて よい。
- ・てんを せんで むすんで かこみます（ぬらなくて よい。となりの てんまでが ます 1つぶん）。
- ・うらがえし（かがみの ように ひっくりかえす こと）は しません。

1



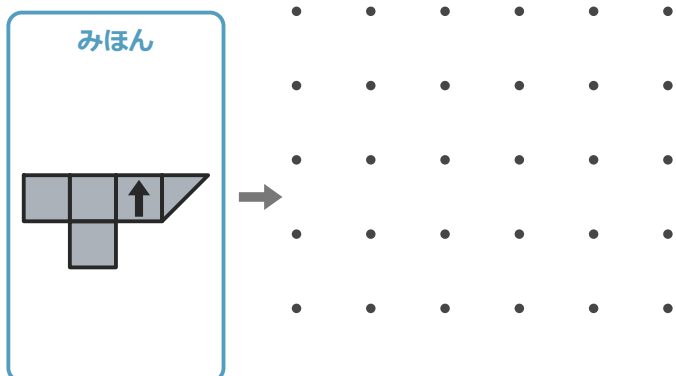
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2



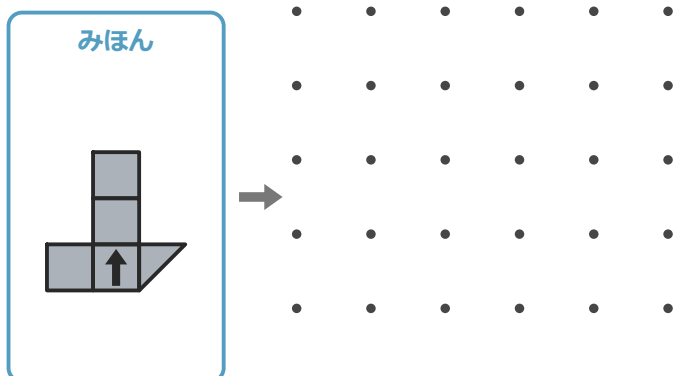
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3



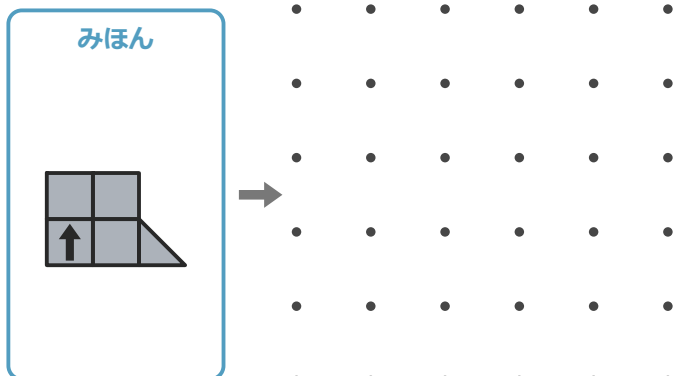
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

4



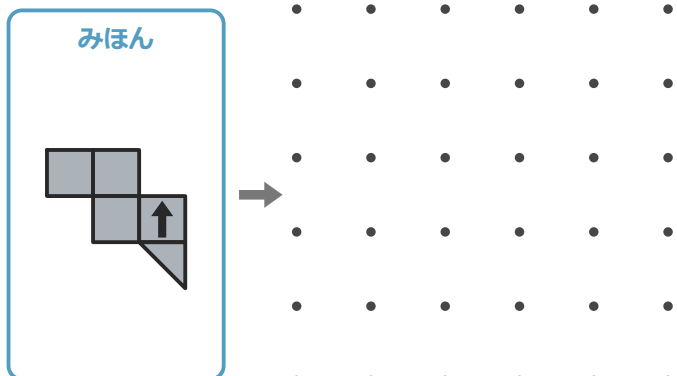
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

5



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

6



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）



まわした かたちを かこう ⑤

2ねんせい／さんかく 2つの かたち

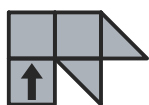
なまえ _____

ひづけ _____

- ・みほんを まわした かたちを、みぎの てんの なかにはいるように 1つだけ かきます。
- ・わくの したに「↑が → になるように まわす」とあります。その とおりに みほんを まわします。
- ・さんかくの むきも、かたちと いっしょに まわります（となりの てんまでが ます 1つぶん）。
- ・てんを せんで むすんで かこみます（ぬらなくて よい）。やじるしは かかなくて よい。
- ・うらがえし（かがみの ように ひっくりかえす こと）は しません。

1

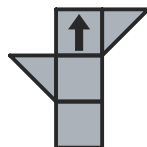
みほん



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2

みほん



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3

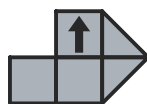
みほん



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

4

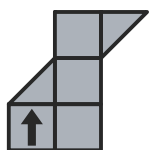
みほん



↑ が ↓ になるように まわす（したむき）

5

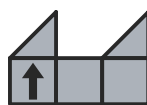
みほん



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

6

みほん



↑ が ↓ になるように まわす（したむき）



まわした かたちを かこう ①【こたえ】

2ねんせい／れいをみて かこう

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

まるつけ：①やじるしの ますが同じ場所 ②ますと三角のならびが赤い形と同じ ③三角の向きが同じ。線の太さは自由。

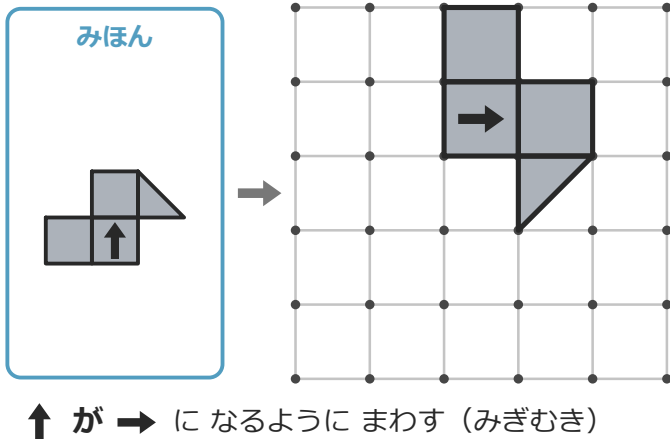
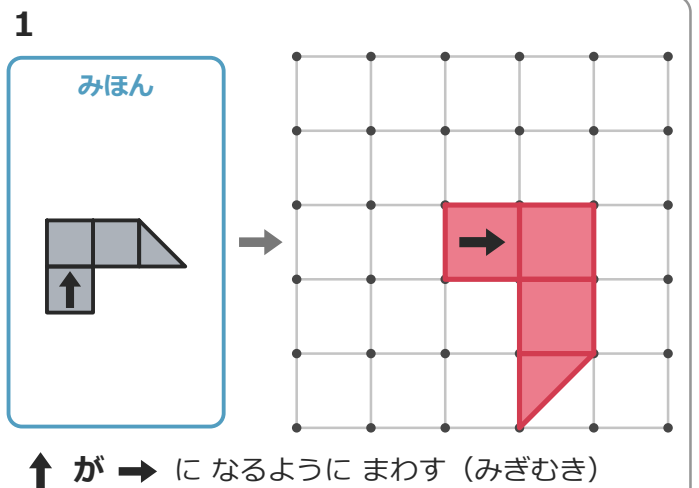
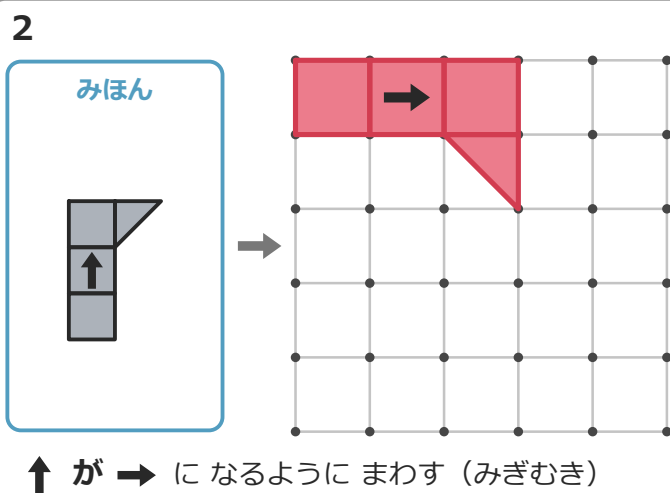
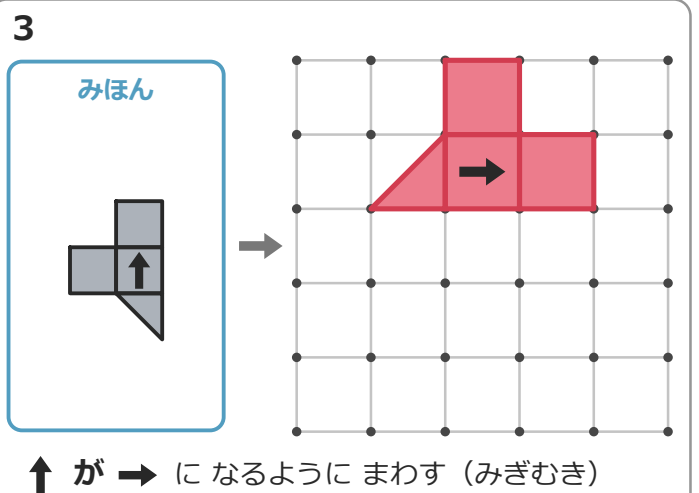
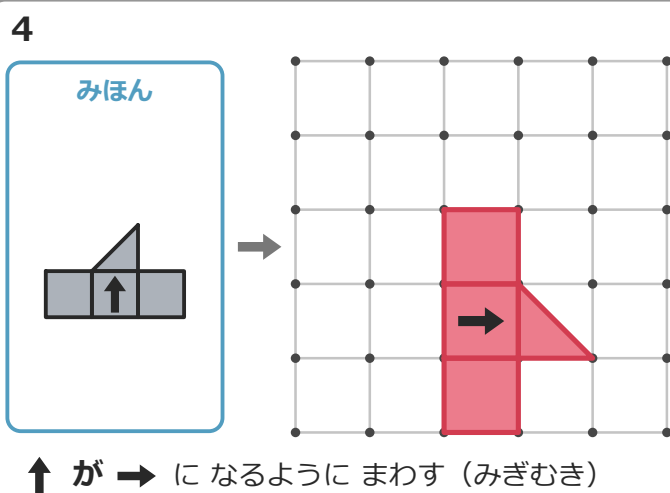
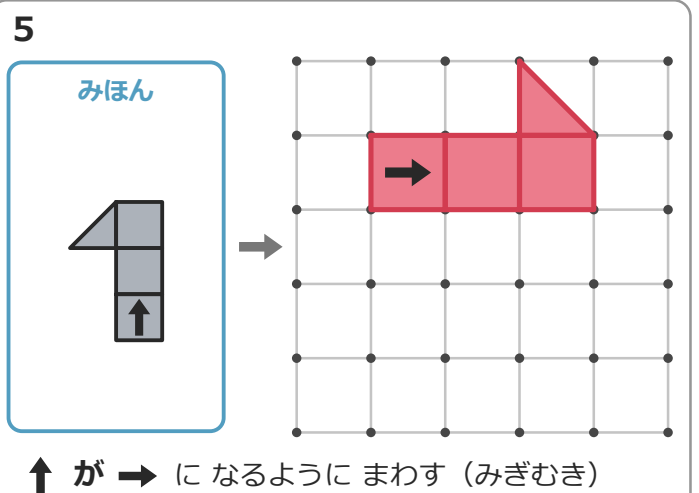
つまずいたら『やじるしの ますは、まわすと どこに くるかな？』と声をかけてください。

みほんの向きのまま写す・うらがえして書くと、やじるしの ますで形がずれます。

1もん目はみぎむき（上向きの矢印が右向きになる）に1回まわします。

うらがえし（かがみにうつした形）は、三角のななめの向きが左右ぎやくになるので、赤い形とくらべると見分けられます。

れい



まわした かたちを かこう ②【こたえ】

2ねんせい／れいなしで かこう

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

まるつけ：①やじるしの ますが同じ場所 ②ますと三角のならびが赤い形と同じ ③三角の向きが同じ。線の太さは自由。

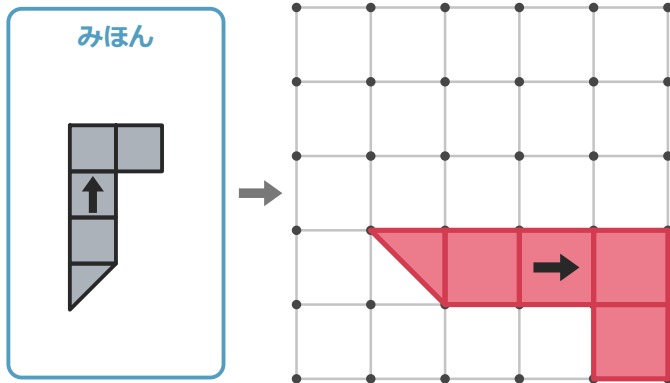
れいは ありません。まわす向きは、各もんの下の『↑が（矢印）に なるように』で決めます。

みぎむき・ひだりむきを とりちがえと、やじるしの ますで形がずれます。紙を実際に回して見せると分かります。

1もん目はみぎむき（上向きの矢印が右向きになる）に1回まわします。

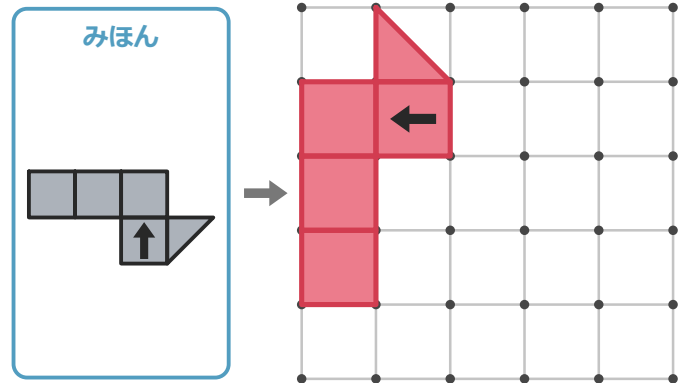
うらがえし（かがみにうつした形）は、三角のななめの向きが左右ぎゃくになるので、赤い形とくらべると見分けられます。

1



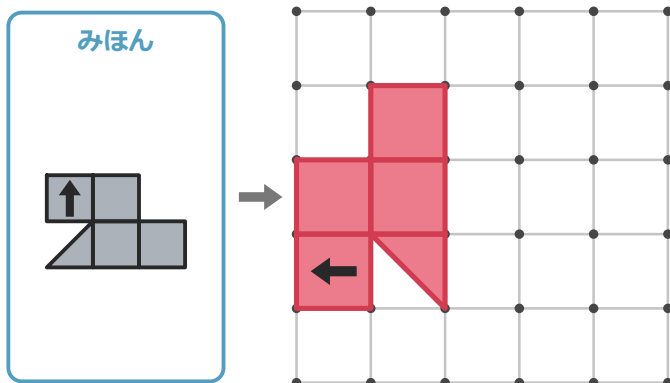
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2



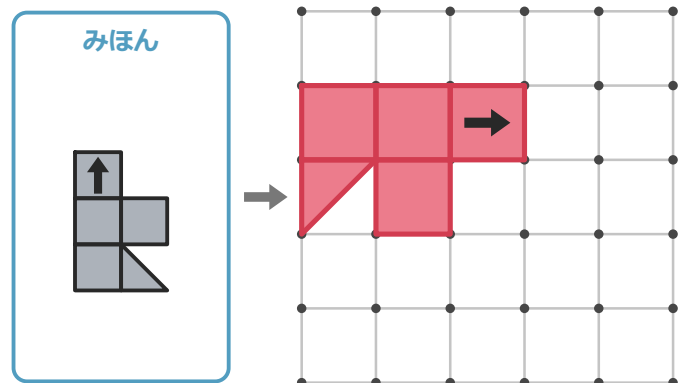
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3



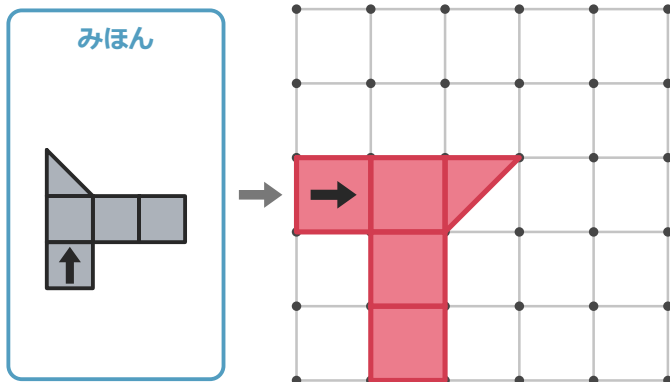
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

4



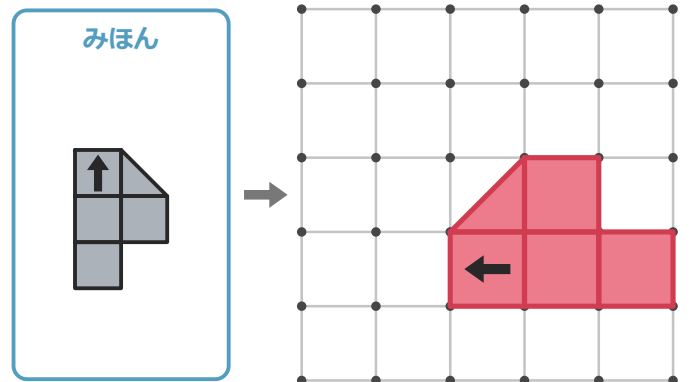
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

5



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

6



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

まわした かたちを かこう ③【こたえ】

2ねんせい／てんだけで かこう

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

まるつけ：①やじるしの ますが同じ場所 ②ますと三角のならびが赤い形と同じ ③三角の向きが同じ。多少のゆがみはOK。

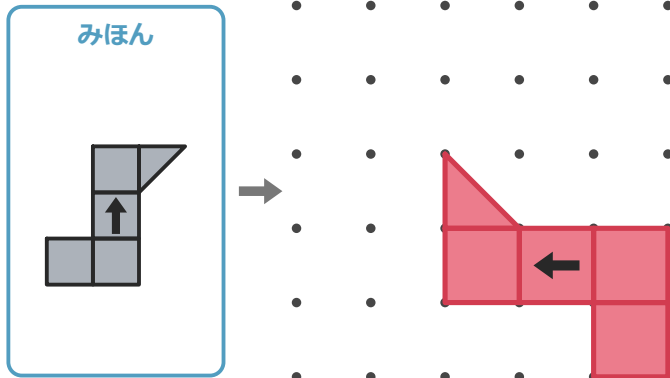
ますめの線が無いので、ななめの線は点から点へ引けていれば○です。定規は使いません。

つまずいたら『まず やじるしの ますを 見つけて、そこから となりへ ひとつずつ』と声をかけてください。

1もん目はひだりむき（上向きの矢印が左向きになる）に1回まわします。

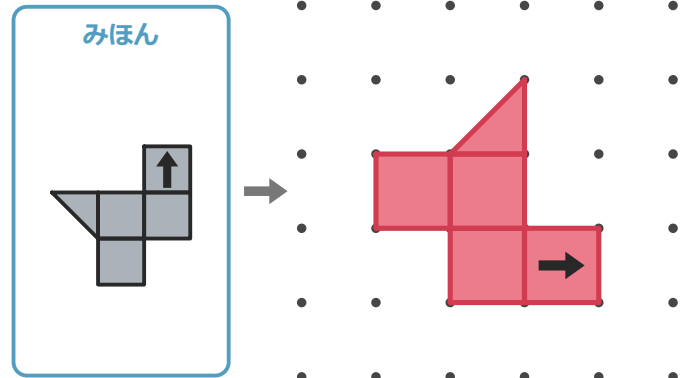
うらがえし（かがみにうつした形）は、三角のななめの向きが左右ぎゃくになるので、赤い形とくらべると見分けられます。

1



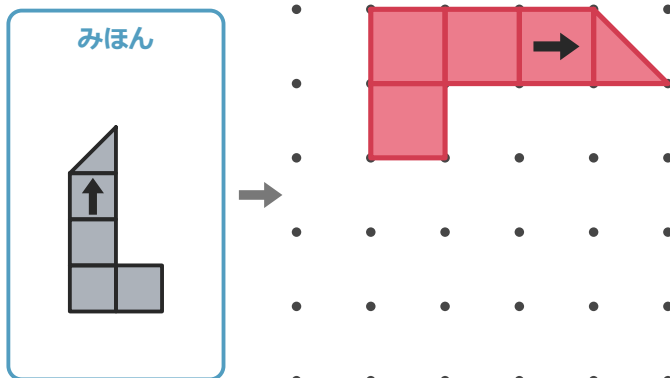
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

2



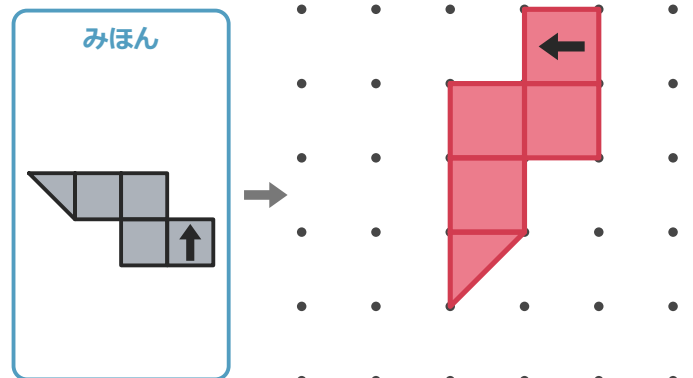
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

3



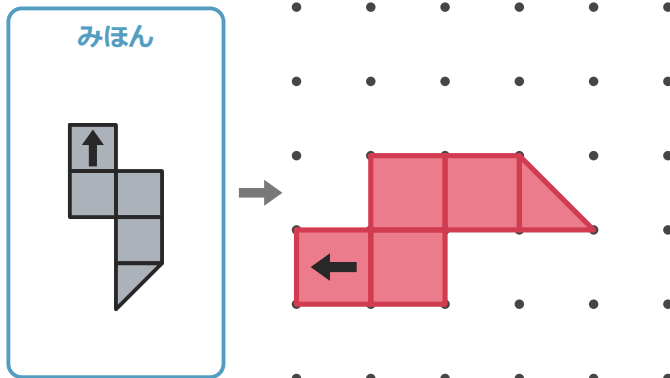
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

4



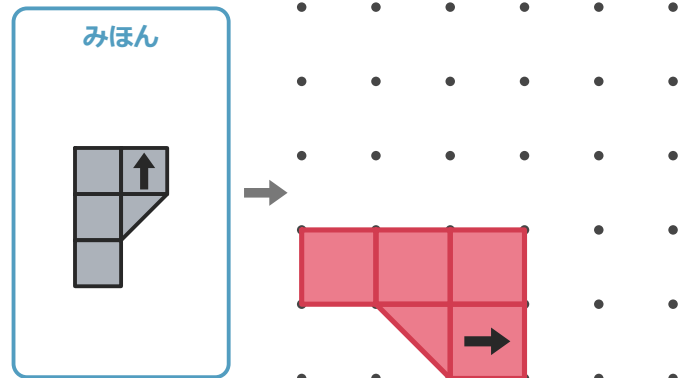
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

5



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

6



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

まわした かたちを かこう ④【こたえ】

2ねんせい／すきな ところに かこう

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

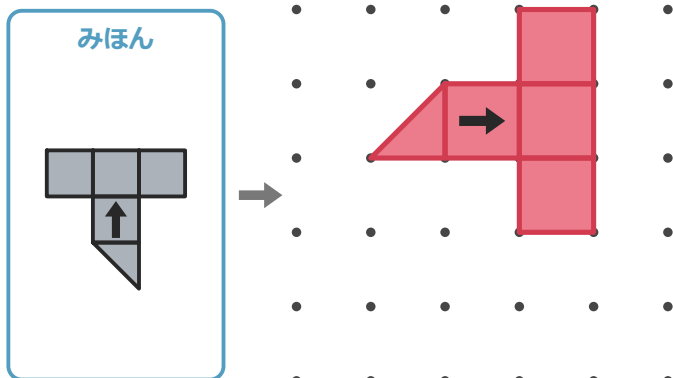
まるつけ（どこに書いても○）：①ますと三角の数・ならびが赤い形と同じ ②三角の向きが同じ ③うらがえしでない。
赤い形は一例です。点の中にはいってれば、書く場所は自由です。

つまりいたら『みほんの やじるしの ますは、まわすと どちらを むくかな？』と声をかけてください。

1もん目はみぎむき（上向きの矢印が右向きになる）に1回まわします。

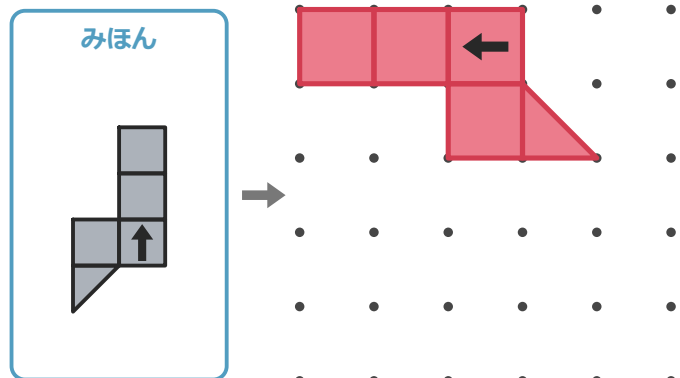
うらがえし（かがみにうつした形）は、三角のななめの向きが左右ぎやくになるので、赤い形とくらべると見分けられます。

1



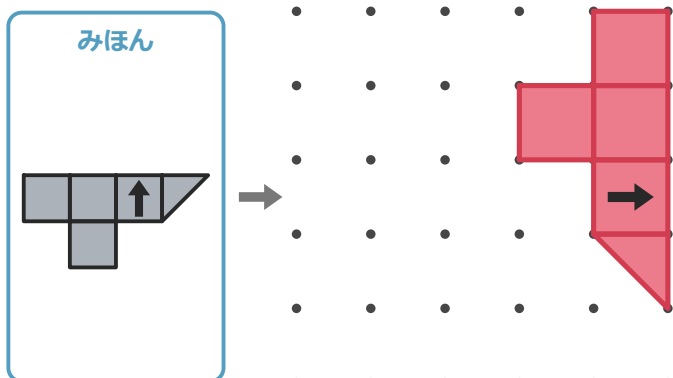
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2



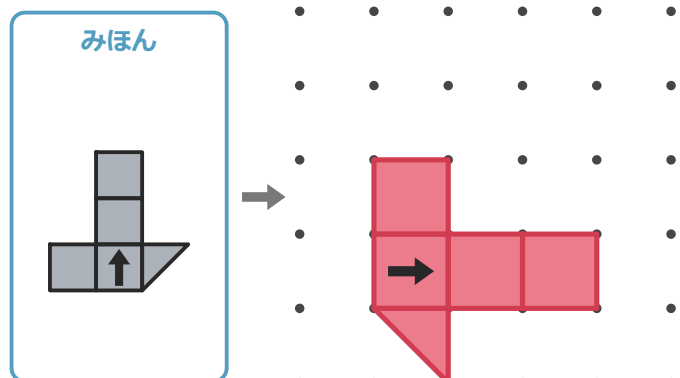
↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3



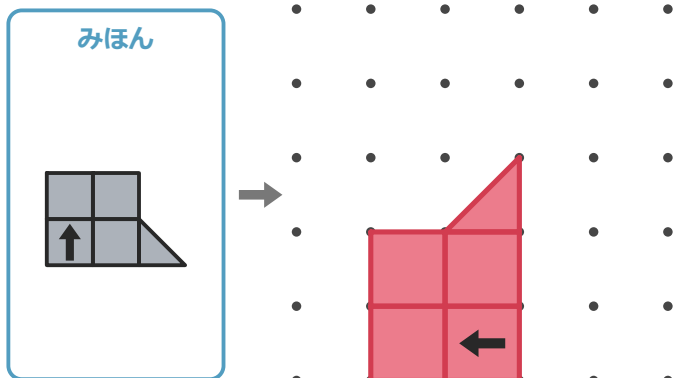
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

4



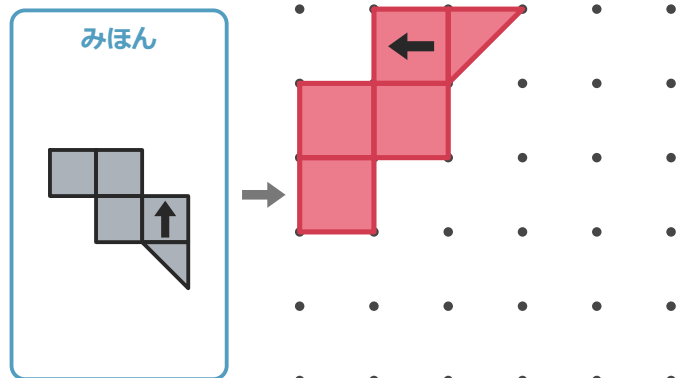
↑ が → になるように まわす（みぎむき）

5



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

6



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

まわした かたちを かこう ⑤【こたえ】

2ねんせい／さんかく 2つの かたち

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

まるつけ（どこに書いても○）：①ますと三角の数・ならびが赤い形と同じ ②三角2つの向きが同じ ③うらがえしでない。
赤い形は一例です。点の中にはいってれば、書く場所は自由です。

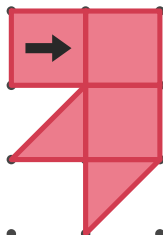
したむき（半回転）は、みほんを紙の上で半周まわした形です。上下だけを入れかえた（うらがえした）形ではありません。

1もん目はみぎむき（上向きの矢印が右向きになる）に1回まわします。

うらがえし（かがみにうつした形）は、三角のななめの向きが左右ぎゃくになるので、赤い形とくらべると見分けられます。

1

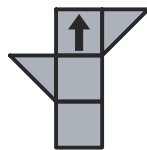
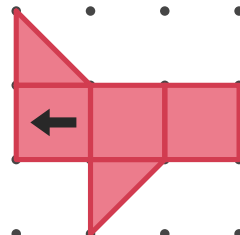
みほん



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

2

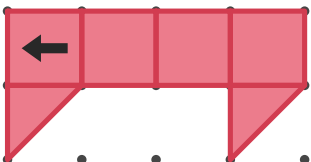
みほん



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

3

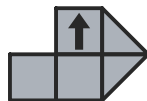
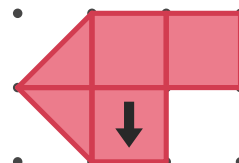
みほん



↑ が ← になるように まわす（ひだりむき）

4

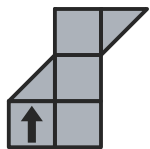
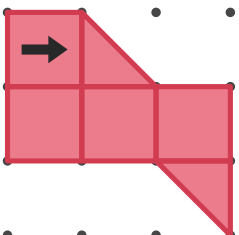
みほん



↑ が ↓ になるように まわす（したむき）

5

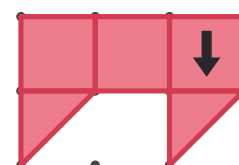
みほん



↑ が → になるように まわす（みぎむき）

6

みほん



↑ が ↓ になるように まわす（したむき）